

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
進路選択	2単位 日本語教育能力	日本語教授法Ⅰ	矢端 晴美	1年次	春

授業のキーワード	言葉と文化 日本語と国語 日本語の音、表記
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	日本人学習者にとっては普段何気なく使っている日本語です。外国語としての日本語という視点から、日本語を再認識します。「国語」ではあまり扱われなかった、他の言語と比較した日本語の特徴や音声を学習します。
履修のアドバイス・ 前提科目等	日本語教育の基礎段階を学習します。日本語教育、日本語教師に興味のある方は、「日本語教授法Ⅱ」「日本語教授法Ⅲ」「日本語教育能力検定対策講座」とともに受講してください。講義前に指定された教科書、資料を必ず読んできてください。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	日本文化と日本語(第1講)	外国人から奇異に見える日本人の言語行動、講師の経験したこと、様々な文献から、お話しします。第1回なので、講義全体の内容についても説明します。	第9講	日本語の音声(第3講)	母音「あいうえお」はどうやって音を作っているのでしょうか。鏡をみながら検証します
第2講	日本文化と日本語(第2講)	「あいさつ」って、何のためにするのでしょうか。たとえば日本人なら誰でも言う「おはようございます」の意味とは?またこの国でも言うのでしょうか?自分はどうして日々の挨拶をしているのでしょうか。	第10講	日本語の音声(第4講)	日本語の子音「か、さ、た、な、は、ま、や、ら、わ、行」の音はどうやって出しているのでしょうか。声門、のど、口の中、鼻、唇をさがしてみましよう。
第3講	日本文化と日本語(第3講)	外国人の目に奇異にうつる日本語の挨拶表現とは?中国語やタイ語との違いを考えます。	第11講	日本語の音声(第5講)	「か」と「が」は音を作る際どこが違うのでしょうか。「ん」の音は一つでしょうか。
第4講	言語としての日本語(第1講)	日本語(他の言語と比べて、本当に難しいのでしょうか?難しいとしたら、どこが難しいのでしょうか?)	第12講	日本語の音声(第6講)	外国人学習者にとって難しい日本語の発音はどういったものなのでしょうか。なぜ難しいのでしょうか。
第5講	言語としての日本語(第2講)	他の言語と比較して、日本語のルーツ、属する類型、日本語の持つ特徴を考えましよう。 1. 性と数 2. 情報の後置性 3. 主語の省略	第13講	日本語の音声(第6講)	アクセント、イントネーションについて。共通語と群馬方言のアクセントはほとんど同じですが、違うものがないのでしょうか。またアクセントは耳のためにあるのでしょうか
第6講	言語としての日本語(第3講)	外国人学習者にとって習得が難しい、「省略」について考えます。	第14講	まとめ	日本語教授法Ⅰ全体を振り返る。
第7講	日本語の音声(第1講) 声を出してみよう!	今まで日本語の「音声」について学習したことはありますか?注意されたことはありますか?コミュニケーションの方法は「音声」だけでしょうか。また「声」を出すとはどういうことでしょうか。	第15講	期末試験	
第8講	日本語の音声(第2講)	日本語の50音の意味とは?	評価方法		出席10% レポート20% 試験70%
備考 (関連する資格・試験等)		「日本語教育能力検定試験」内容基礎			
使用する教科書(必ず購入してください)			参 考 文 献		
新・はじめての日本語教育1 日本語教育の基礎知識 高見沢孟監修 アスク出版			教えるための言葉の整理vol1 丸山敬介 凡人社 プリアーのタイ語会話インカピロム・プリアー、水野潔著 めこん刊		